

バイオコミュニティ関西 「分析・計測分科会」シンポジウム

バイオコミュニティ関西（BioCK）は、内閣府の「バイオ戦略2020」に基づき、バイオエコノミー社会の実現のため、国際都市型バイオコミュニティの形成を目指す活動を進める、関西圏のグローバルバイオ拠点づくりのための団体です。

分析・計測分科会では、数多くの大学等研究機関と、分析・計測関連産業が立地する京都の強みを活かし、産学公連携の下、人材育成と新技術開発の取組を進めています。

今回のシンポジウムでは、バイオエコノミーの推進をテーマに、スタートアップ、産業基盤をはじめ多方面から考えるシンポジウムを開催します。事業創出や新市場開拓等、バイオ産業に関わる方及び興味がある方はふるってご参加ください。

2025

日時

7.16 WED 13:00～17:20
終了後、交流会あり

会場

地方独立行政法人京都市産業技術研究所

2F ホール

同会場で分析・計測分科会の参画企業が
ポスター展示を行います。

締切

2025年 **7月11日** (金)

定員

100名

参加費

シンポジウム：**無料**

交流会：会費 **3,000円** (当日徴収)

申込方法

お申込みは、右記二次元コードもしくはURL からご確認ください。

<https://tc-kyoto.or.jp/kist-bic/news/bunsekikeisoku-symposium2025.html>

バイオ エコノミーの 推進に向けて

講演 講師プロフィール

京都工芸繊維大学分子化学系
教授



熊田 陽一 氏

2005年神戸大学大学院自然科学研究科修了（博士（工学））、同年、日本学術振興会特別研究員（PD）、2007年京都工芸繊維大学助教、2014年同大学准教授を経て2025年4月より現職。専門は生物化学工学、生物分離工学、抗体工学、クロマトグラフィ、タンパク質の分子配向制御。

国立研究開発法人産業技術総合研究所
生命工学領域・連携オフィサー



三宅 正人 氏

専門は生物機能工学。バイオベンチャー創業・事業開発を経験したバイオ研究者としての専門性を活かし、知財戦略と経営戦略に基づく産学連携のコーディネーションに従事。本業の傍ら、大学非常勤講師として「戦略的」産学連携について講義。資格：技術士（生物工学部門）、AIPE 認定・知的財産アナリスト。

製品評価技術基盤機構(NITE) バイオテクノロジーセンター
バイオデジタル推進課 課長



八塚 茂 氏

システムベンダーにてバイオ研究機関向けシステムの開発・販売に約15年間従事。その後、バイオサイエンスデータベースセンター（NBDC）研究員を経て、2022年より製品評価技術基盤機構（NITE）にて微生物データベースシステムの企画・運営を担当。

▶ 基調講演：40分

▶ 講演：25分 2演題

▶ パネリスト発表：15分 4名

問合せ先

バイオコミュニティ関西 分析・計測分科会 事務局

（地独）京都市産業技術研究所（京都バイオ計測センター）

TEL：075-326-6101 E-mail：kist-bic@tc-kyoto.or.jp

主催：バイオコミュニティ関西「分析・計測分科会」

【リーダー機関】(株) 島津製作所／京都市／（地独）京都市産業技術研究所

後援：近畿経済産業局／バイオコミュニティ関西／

NPO法人近畿バイオインダストリー振興会議

バイオコミュニティ関西「分析・計測分科会」シンポジウム バイオエコノミーの推進に向けて

プログラム

13:00 開会

13:10 基調講演

低分子抗体の構造理解と 分子改変に基づく次世代型免疫検査 プラットフォームの構築

京都工芸繊維大学分子化学系

教授 熊田 陽一 氏

13:50 講演 1

成功するバイオ産学連携のすすめ

国立研究開発法人産業技術総合研究所

生命工学領域・連携オフィサー 三宅 正人 氏

14:15 講演 2

スタートアップを支える バイオリソース： NITEの提供する菌株とデータの可能性 —スタートアップの研究開発を加速する 微生物リソースとデータベースの 活用法—

独立行政法人製品評価技術基盤機構（NITE）
バイオテクノロジーセンター

バイオデジタル推進課 課長 八塚 茂 氏

14:40 パネリスト紹介・発表

1 タカラバイオ株式会社
渉外開発部 部長 横田 和拡 氏

2 ワケンホールディングス
株式会社 総務部(SDG s 担当) 山谷 雅和 氏

3 株式会社島津製作所
分析計測事業部 ライフサイエンス事業
統括部LCBU 副ビジネスユニット長 松本 恵子 氏

4 近畿経済産業局 地域経済部
パイオ・医療機器技術振興課 課長補佐 西藤 真太郎 氏

15:40 休憩

15:55 パネルディスカッション

テーマ 「バイオ産業集積に必要なこと」

モデレーター

地方独立行政法人京都市産業技術研究所
プロジェクト推進室長 山本 佳宏

パネリスト 講演及びパネリスト紹介登壇者

17:20 閉会

ポスター前コミュニケーション

17:40 交流会

アクセス



場所：

京都市産業技術研究所

(京都市下京区中堂寺栗田町91 京都リサーチパーク 9号館南棟)

京都市バス：

「市立病院前」東へ徒歩約4分

「京都リサーチパーク前」西へ徒歩約6分

J R 嵯峨野線：

「丹波口駅」西へ徒歩約8分

バイオコミュニティ関西 (BiocK) <https://biocK.jp/>

バイオ関連市場の拡大に向けて、東京圏のGreater Tokyo Biocommunity (GTB) とともに、内閣府のバイオ戦略に基づき認定されている官民ネットワーク。ヘルスケアや環境・エネルギーなど、多様な分野から31の分科会が設置されている。

分析・計測分科会

バイオ産業の課題である「分析・計測技術の継承断絶」、「データサイエンティストの不足」、「人材の関西地域外への流出」を解決し、京都市内のバイオ産業関連企業をはじめとする関西地域のバイオ産業活性化を推進するため、一昨年5月に発足。